

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ  
市議団ニュース

<第1回定例会>

2017年3月11日

No. 172

日本共産党札幌市議団 事務局  
tel 211-3221 / fax 218-5124

## 公園トイレの廃止検討——住民の意見尊重を 昼でも暗い厚別科学館公園のトイレ、改善へ！

村上ひとし議員が質問

日本共産党の村上ひとし議員は8日、予算特別委員会で公園トイレの問題について質問しました。

村上議員は、「公園面積が2㌔以上の近隣公園、地区公園、総合公園あるいは運動公園には、利用者が長時間滞在することが想定され公園トイレは存続するが、街区公園（かつての児童公園）は、今後、更新時に廃止を検討するとされている」と指摘。「可能な限り維持すべきであり、災害時の避難や防災倉庫の設置など社会状況の変化もあり、よく話を聞き住民意見を反映することが大切」とたどしました。

北原みどりの推進部長は、「公園トイレの存廃は、市民意見や配置のバランスにも十分配慮しながらすすめていく」とこたえました。

村上議員は、大型イベントが開催され市民や観光客でにぎわう大通公園のトイレについて「様々な課題はあるが、本市の顔である大通公園にトイレットペーパーを設置すべきではないか」とのべ、また、「厚別区の科学館公園のトイレが昼間でも暗く懐中電灯を持って利用している」という声を紹介し、改善を求めました。

東山みどりの管理担当部長は、大通公園については「昨年7月から3カ月間試行したが、トイレットペーパーの補充やいたずらが課題」としつつ、「新たな対策も考え試行を継続していきたい」「科学館公園のトイレは昼間でも暗いと苦情が寄せられている」として「対策を検討したい」とのべました。

## 労働者が継続して働き続けられるよう、指定管理者 制度は廃止を含め抜本的に見直せ！

伊藤りち子議員が質問

日本共産党の伊藤りち子議員は9日、予算特別委員会で市の施設の管理・運営を行う指定管理者制度（原則4年）について質問しました。

指定管理者の募集には公募と非公募があり、児童会館や老人福祉センターなどの福祉施設や区民センター、地区センターなどのコミュニティー施設は、「利用者との継続的な信頼関係が求められる」ため非公募（現在の指定管理者を継続させる）としています。

伊藤議員は、このことを確認したうえで、「児童会館の場合、指定期間は4年なのにそこで働く臨時職員の雇用期間が3年間で、『継続的な信頼関係』がはかられるのか」「児童や保護者、地域住民との継続的な信頼関係が求められるため『非公募』としているのであれば、指定管理者制度は廃止を含め見直すべき」とたどしました。

山田改革推進室長は、「有識者などによる運営協議会の協議を通じて改善にむけてとりくみたい」「利用者アンケートから概ね満足と評価されている」などとのべました。

伊藤議員は、「労働契約法が改正され、通算5年を超えて働いた場合、労働者が申し出れば無期雇用に転換するルールにこの4月からなるが、これを機に指定管理者が臨時職員を雇止めにする懸念がある」として、「本市として事業者への指導を強めるべき」とたどしたのに対し、山田部長は「労働法令の遵守を求めている」などとのべるにとどまりました。